

■定点観測実習記録 — 1 —

京大病院の外来患者の交通手段（自家用車，タクシー）

春木 彩乃， 澤水 里奈， 森 仁実， 岩崎 収真， 岩瀬 聖華

Transportation (Car, Taxi) of Outpatients in Kyoto University Hospital

Ayano HARUKI, Rina SAWAMIZU, Hitomi MORI, Kazumasa IWASAKI and Seika IWASE

目 的

京大病院に来る車のナンバーからどこの県から来る人が多いのかを調べると同時に待ち時間を調べた。自家用車の渋滞がよくみられるので，公共の交通機関を使う利点を考察した。

方 法

2017年8月4日に，京大病院の駐車場の入り口（地点P1，P2）で自家用車・タクシーの台数，また，それらの車のナンバープレートから患者たちがどこから来たのかを調べた。今回は地点P1とP2で観測を行ったが，地点P1からP2へ，また，地点P2からP1へと移動する車が多かったため合わせて結果を報告したい。

結 果

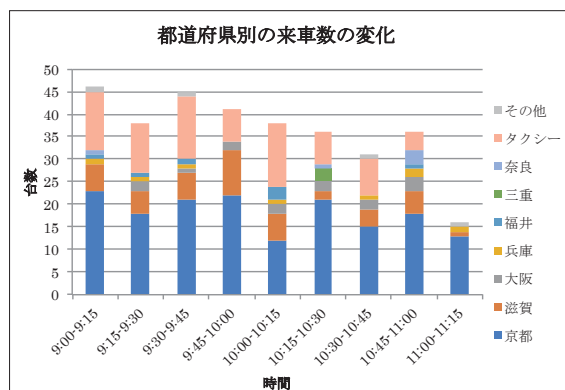


図1 都道府県別の来車数の変化

表1 地点P1 P2の車の合計入場数

	9:00-9:15	9:15-9:30	9:30-9:45	9:45-10:00	10:00-10:15	10:15-10:30	10:30-10:45	10:45-11:00	11:00-11:15	合計
京都	23	18	21	22	12	21	15	18	13	163
滋賀	6	5	6	10	6	2	4	5	1	45
大阪		2	1	2	2	2	2	3		14
兵庫	1	1	1		1		1	2	1	8
福井	1	1	1		3			1		7
三重						3				3
奈良	1					1		3		5
タクシー	13	11	14	7	14	7	8	4		78
その他	1		1				1		1	4
合計	46	38	45	41	38	36	31	36	16	327
待ち時間 P1	～5分	～10分	～15分	～15分	～10分	～10分	～10分	～5分	～5分	
P2	～5分	～5分	～5分	～5分	～5分	～10分	～15分	～10分	～5分	

考 察

図1より、京都府の人々はすべての時間帯を通して均一に多数入場していて、近畿（京都府以外）の地域の人々は朝早くに入場していたことが多かったということがわかる。また、その他として扱われている徳島や高知など遠方から来た人々の入場の時間帯には関連性はないと考えられる。

次に、今回の定点観測において、通常よりも母数が少なかったことについての原因を考えようと思う。前日が台風だったことが何か関係しているのではないかと思ったが、以下のことは外来実習を通して学んだことではあるのだが、予約をしているので、台風が来ているため行きたくないとはいってもしぶしぶ病院に行く人のほうが多いそうである。ならば、台風の次の日だからという理由で患者数が少なくなることはないだろう。だが考えてみてほしい。病院に来る人々は患者だけではなく見舞いに来た人もいる。見舞いには予約などないため、来場者数が減り、それに比例して駐車人数も減ったことはうなずけよう。

今回の観測では車が並び始めてから駐車場の入口ゲートまでの時間を調べたが、さらにその中で待つ時間もあることも考慮したい。大体入り口から駐車する場所までの車の運転時間を約3分、駐車した場所から京大病院まで歩く時間を約5分として考える。駐車してから移動するまでの時間などを考えると上で示した時間よりもさらに10分ほどかかることが予測される。

ここで、車を利用することと公共機関を利用すること、どちらが良いかを検証したいと思う。といっても

「良い」の基準は人それぞれであるので、今回は客観的に見て皆が良いとするであろうことだけを述べる。

まずは金銭面について考えたい。いわずもがな、車ではガソリン代・高速道路の料金・駐車料金などの費用がかさむため、公共機関だけを使うとすれば圧倒的に後者のほうが金銭面では良いと言えるだろう。しかし、公共機関だけを用いない場合、例えば最寄り駅までをタクシーなどで移動した場合などを考えたときはどちらがよいとははっきりと言えない。次に時間のことを考えたい。大抵の場合door to doorの車のほうが、乗り換えの時間や最短距離を行かないことなどを考えなければならない公共機関よりも時間はかからないだろう。しかし盆のように帰省する人が多く、渋滞が起こる場合は公共機関のほうが時間はかからないかもしれないため、これも一概にどちらが良いとは言えない。最後に車いすに乗っている人について考えたい。車いすに乗っている人にとって、家から最寄り駅まで行くことはきっと大変だろうし、電車に乗っているときも他者に助けてもらわなければならないため、精神的負担がかかるであろう。これらのことを考えると車いすの人々には公共機関よりも車のほうが良いように思える。

車と公共機関、どちらにも都合の良い点と悪い点があり、どちらが上回るかは人によって異なるだろう。しかし、公共機関を用いると環境に良いとか運動量が増えるだとか、または維持費がかからないなどのメリットがある。正直これらは目の前に見える利点ではないため軽視しがちではあると思うが、これらのことにまで気を回せるのであれば、ぜひ公共機関を利用してほしいと思う。